

# 2022年度特別セミナー（5月より開始）

香川学習センター客員教員による学内学習会です。放送大学学生を対象に、月1回実施しています。  
**8月は全セミナー休講となります。**（※申込・詳細については事務室窓口までお願いします。）

セミナー名 講師	概要	日時
共感力を見直す 有馬 道久	経済合理性や効率性が追求され、デジタル化が進む現在、あらためて人と人とのアナログな関係性、とくに共感力の重要性が見直されています。共感には認知的共感や情動的共感のほか、共感的関心や共感的配慮といった側面もあります。本セミナーでは、今求められる共感力とは何か、それは伸ばせるか、どうすれば共感疲れや共感中毒を回避できるかについて考えます。	原則第2水曜 13:00-14:30
テキスト 遺伝子の不思議を理解する 麻田 恭彦	近年の生命科学研究の進展は目覚ましく、今や生命科学は、遺伝子組換え作物・ゲノム編集・再生医療、そして最近よく見聞きするPCRやmRNAワクチン等々、我々の日常生活にも直接的に関わる存在となってきました。本セミナーでは、そのような生命科学を理解する方策の一つとして、生命の根幹ともいえる遺伝子について、その不思議と面白さを実感してもらいたいと思います。 テキスト：島田 洋輔、行方図解『遺伝子の不思議としくみ入門』、朝日新聞出版	原則第1金曜 10:30-12:00
テキスト 多文化社会で多様性を考える 小方 朋子	多様性（ダイバーシティ）という言葉がいろんなところで聞かれるようになってきました。常識だと思っていたことや自分の思い込みが壁を作ってしまうこともあります。ワークブックを使いながら、今、社会が目指している共生社会についていろいろ考えていきたいと思っています。 テキスト：有田 佳代子他、『多文化社会で多様性を考えるワークブック』、研究社 2018年	原則第3木曜 13:00-14:30
いじめ・偏見・差別を考える 金網 知征	私たちの多くは、いじめも、偏見や差別もない社会を望んでいます。ところが、周囲を見渡せば実に身近なところで「コロナ差別」や「コロナいじめ」が起こっています。ネット上での無分別な誹謗中傷等も後を絶ちません。昨年度に引き続き、身近な事例を用いながら、誰の心にも存在するいじめや偏見・差別につながる心理を解き明かし、皆が安心して暮らせる社会について考えたいと思います。テキスト：未定	原則第4金曜 10:30-12:00
はじめての臨床心理学 橋本 忠行	医療、教育、福祉、司法、産業の5分野で、公認心理師・臨床心理士は支援を必要とする方々やその関係者への、心の理解と支援を行っています。そのおおもとなる理論や実践をわかりやすく解説します。心理的アセスメント、カウンセリング、感情、パーソナリティの捉え方から、不登校、トラウマ、心と身体の痛み、子どもと家族の事例研究まで、各回毎にテーマを設定してディスカッションを深めていきます。	原則第2金曜 10:30-12:00
洪水ハザードマップの読み方 長谷川 修一	水防法の改定によって、これまでの100年に一度の降雨による洪水だけでなく、1000年に一度の降雨による洪水の浸水想定区域と浸水継続時間が公表されました。新しい浸水想定区域は、過去の河道の変遷を忠実に表しています。例えば、綾川が氾濫すると、大東川に流れてゆきます。これは、綾川がかつては大東川に向けて流れたことを示しています。本セミナーでは、香川県内の主な河川の洪水ハザードマップを例として、河川の流れの変遷と水害について考えてみます。	原則第3木曜 10:30-12:00
加害者処遇と被害者支援から共生社会を考える 平野 美紀	犯罪は世の中を映す鏡といわれています。本セミナーでは、さまざまな犯罪（例えば、重大犯罪といわれているものや、児童虐待やDVなど家庭の中の犯罪）と加害者処遇・被害者支援の制度を学び、現代の日本社会の課題と、共生社会の中で私たちができることを考えていきたいと思います。	原則第2木曜 10:30-12:00
家族について考える 松本 啓子	身近な出来事、図書や映画等をヒントに、多様な側面から家族について考えたいと思います。具体的には、それぞれが家族の視点を取り入れた、図書や映画、文献等の紹介を行い、課題や問題提起に繋げる。そこからディスカッション等を取り入れながら、家族を捉えることで、自分の家族についても考える機会にしたいと思います。テキスト：未定	原則第3金曜 13:00-14:30

※日程を変更することがあります。変更があった場合はHPに掲載または教務掲示板に掲示します。

テキスト



←このマークがあるセミナーでは、テキストを使用するので各自で事前に用意してください。